

令和3年度

足利市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 足利市社会福祉協議会

目 次

1	役員等の異動	…	1
2	会議等の開催状況	…	2
3	職員の状況	…	4
4	社協会費の状況	…	4
5	地域福祉活動計画の具現化の取り組み	…	4
	(1) 目標1：皆が参加し支え合う福祉の風土をつくる	…	4
	(2) 目標2：住民の身近なところで様々な地域福祉活動を推進する	…	6
	(3) 目標3：福祉活動の担い手を支援する	…	7
	(4) 目標4：安心して暮らせる地域づくりを進める	…	9
	(5) 目標5：いつでも相談ができ適切な情報が得られる仕組みづくりを進める	…	12
6	介護保険事業の実施	…	14
7	障害児通所支援事業の運営	…	14
8	福祉施設等の経営	…	14
9	その他の事業	…	19

事 業 報 告 書

1 役員等の異動

役 職	就 任		退 任	
	氏 名	年 月 日	氏 名	年 月 日
理 事	堤 千代子	令和3年6月29日	寺山 厚子	令和3年6月29日
理 事	三田 眞理子	令和3年6月29日	冨田 孝	令和3年6月29日
評議員	永松 正子	令和3年6月16日	竹内 悦朗	(令和3年3月31日)
評議員	平塚 茂	令和3年6月16日	栗原 収	令和3年5月27日
評議員	減 員		五島 秀夫	令和3年6月29日
評議員	減 員		蓮沼 眞二	令和3年6月29日
評議員	減 員		亀山 義弘	令和3年6月29日
評議員	減 員		和田 眞一	令和3年6月29日
評議員	減 員		飯田 眞一	令和3年6月29日
評議員	佐川 光男	令和3年6月29日	青木 希一	令和3年6月29日
評議員	前田 洋子	令和3年6月29日	新美 けい子	令和3年6月29日
評議員	志部 哲也	令和3年6月29日	直井 康	令和3年6月29日

* () 内は、前年度に退任された方です。

2 会議等の開催状況

(1) 理事会

	開催日	内 容
第1回	6/9(水)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 報告第2号 役員(理事)の退任の報告について 報告第3号 評議員の退任の報告について 報告第4号 評議員選任・解任委員会委員の退任の報告について 報告第5号 令和3年度第1回現金出納検査の結果報告について 報告第6号 足利市総合福祉センター内私有地について 報告第7号 母子生活支援施設さわらごハイム足利の廃止について 議案第1号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会定款施行細則の改正について 議案第2号 評議員候補者の提案について 議案第3号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第4号 居宅介護支援事業の廃止について 議案第5号 令和2年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会事業報告について 議案第6号 令和2年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支決算について 議案第7号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会定時評議員会の開催について 報告第8号 社会福祉充実残額について
第2回	6/29(火)	報告第1号 評議員の退任及び選任結果について 議案第1号 会長の選定について 議案第2号 副会長の選定について 議案第3号 常務理事の選定について 議案第4号 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第3回	9/17(金)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 報告第2号 令和3年度第2回現金出納検査の結果報告について 報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について 議案第1号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第4号について 議案第2号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について
第4回	11/26(金)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 報告第2号 令和3年度第3回現金出納検査の結果報告について 議案第1号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会諸規程の改正について 議案第2号 足利市地域福祉活動計画(素案)について 議案第3号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について
第5回	3/16(水)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 報告第2号 令和3年度第4回現金出納検査の結果報告について 報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について 議案第1号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会の行う事業における苦情解決に関する第三者委員の選任について 議案第2号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会定款の変更について 議案第3号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会諸規程の改正について 議案第4号 福祉金庫の不納欠損処分について 議案第5号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第11号について 議案第6号 令和4年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会施設長等の選任について 議案第7号 令和4年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会事業計画について 議案第8号 令和4年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支予算について 議案第9号 役員等賠償責任保険契約について 議案第10号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会第4回評議員会の開催について

(2) 監事会

	開催日	内 容
第1回	5/20(木)	令和3年度第1回現金出納検査(令和3年1月~3月) 令和2年決算監査の結果について
第2回	8/5(木)	令和3年度第2回現金出納検査(令和3年4月~6月)
第3回	10/28(木)	令和3年度第3回現金出納検査(令和3年7月~9月)
第4回	2/3(木)	令和3年度第4回現金出納検査(令和3年10月~12月)

(3) 評議員会

	開催日	内 容
定時評議員会	6/29(火)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 報告第2号 役員(理事)の退任の報告について 報告第3号 評議員の退任及び選任結果の報告について 報告第4号 評議員選任・解任委員会委員の退任及び選任結果の報告について 報告第5号 足利市総合福祉センター内私有地について 報告第6号 母子生活支援施設さわらごハイム足利の廃止について 議案第1号 役員(理事及び監事)の選任について 議案第2号 居宅介護支援事業の廃止について 議案第3号 令和2年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会事業報告について 議案第4号 令和2年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支決算について 報告第7号 社会福祉充実残額について
第2回	9/28(火)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 議案第1号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第4号について
第3回	12/6(月)	報告第1号 会長専決処分事項報告について 議案第1号 足利市地域福祉活動計画(素案)について
第4回	3/25(金)	報告第1号 理事の退任について 報告第2号 会長専決処分事項報告について 報告第3号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会の行う事業における苦情解決に関する第三者委員の選任結果について 議案第1号 社会福祉法人足利市社会福祉協議会定款の変更について 議案第2号 福祉金庫の不納欠損処分について 議案第3号 令和3年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支補正予算第11号について 議案第4号 令和4年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会事業計画について 議案第5号 令和4年度社会福祉法人足利市社会福祉協議会資金収支予算について 議案第6号 理事の選任について

3 職員の状況（令和4年3月31日現在） (人)

職員数	職員区分（職員数内訳）			
	正規職員	嘱託給職員	時間給職員	非常勤職員
141	63	21	28	29

4 社協会費の状況

令和3年度会費収入	13,576,612円
内訳：普通会費（各世帯）	11,363,392円
特別会費（個人）	834,100円
賛助会費（法人、企業、施設、団体等）	1,379,120円

5 地域福祉活動計画の具現化の取り組み

第3次足利市地域福祉活動計画（5か年）実施の最終年度として、地区社会福祉協議会等と連携し地域福祉の推進に努めました。

「目標1：皆が参加し支え合う福祉の風土をつくる」

(1) 福祉教育の充実

福祉への理解は、子どもの頃からの学習や体験が必要であることから、学校や当事者団体等との十分な連携を図り、福祉教育や体験学習の充実に努めました。

ア 福祉教育・体験学習への支援状況 (回、人)

区分	延回数	参加延人数	内容	
総合学習等への支援	小学校9校	18	1,139 76	点字教室、手話教室、アイマスクガイド
	中学校1校	2		体験、車いす体験、高齢者疑似体験、福祉体験器材の貸出し等（高齢者疑似体験セット、車いす、点字器）
福祉器材貸出し	団体等1団体	2	/	
	特別支援学校1校	1		
	小学校4校	4		
	中学校1校	1		

イ 「福祉に関する標語」の活用

平成29年度に実施した「福祉に関する標語コンクール」で最優秀賞を受賞した標語3点を、各種事業や広報誌で活用しました。

小学生の部 「支え合い 地域の絆 深めよう」

中学生の部 「助け合う あなたの心が地域を変える」

一般の部 「人助け 一歩踏み出す その勇気」

ウ 「マスコットキャラクター」の活用

福祉への理解とPRのために広報紙やホームページ等で活用しました。

(2) 住民に対する福祉への理解の促進

地域住民に対し福祉研修会や懇談会を開催することで、福祉への理解を促進しました。また、出前福祉講座のメニューを増やす等、内容の充実に努めました。

ア 出前福祉講座等

(人)

実施日	依頼元	講座の内容	参加人数
6/15 (火)	足利市職員研修	福祉講話、車いす体験	27
7/19 (月)	助戸公民館	「地域共生社会」について	14
10/27(水)	助戸公民館	災害ボランティアについて	37
12/2 (木)	筑波公民館	「地域共生社会」について	19
12/14(火)	毛野公民館	「地域共生社会」について	12
3/25 (金)	地域包括支援センターさかにし	買い物から始まる地域づくり ～買い物マルシェがつむぐ地域の和～	18

イ 赤い羽根シネマ

地域住民がさまざまな地域課題や福祉について関心を持つきっかけとなるよう、福祉をテーマとした映画会を実施しました。

テーマ：「コロナ禍で考える～大切な人へ伝えたいこと～」

期 日：令和4年3月27日(日)

会 場：ユナイテッド・シネマアシコタウンあしかが

作 品：「ツナグ」

来場者：82人(関係者含む)

(3) 障がい児者との交流の促進

地域住民の障がい児者やその家族に対する理解の促進を図りました。また、ノーマライゼーション社会の実現に向け、障がい児者と地域住民との交流を促進しました。

障がい児者ふれあいサロン(お陽さまマルシェ)

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区でのお陽さまカフェの開催ができなかったため、障がいのある方との交流を目的に開催しました。

期 日：令和3年12月18日(土)

会 場：総合福祉センター駐車場

内 容：市内の障がい福祉サービス事業所やキッチンカーの協力を得て、ミニマーケットを開き、障がいのある人もない人も様々な方が交流できる場を提供しました。

参加者：約400人

「目標 2：住民の身近なところで様々な地域福祉活動を推進する」

(1) 見守り活動の充実

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方が元気で安心して生活できるよう、地区社会福祉協議会が行っている声かけ、訪問等での見守り活動の充実に努めました。また、担い手となる福祉協力員の設置に努めました。

ア ふれあい・いきいきサロン設置数 171 か所

イ ふれあい・いきいきサロン代表者研修会 (人)

月日	対象地区	会 場	参加人数
6/24 (木)	小俣	小俣公民館	14
6/29 (月)	山辺	山辺公民館	31
11/8 (月)	毛野	毛野公民館	21
合 計			66

ウ 高齢者等の救急時安心事業「安心キット」

緊急時の救急対応に備えるため、安心キット（独居高齢者等の医療情報等を入れた容器）を、各地区社協を通じて配布しました。

容 器： 439 個

カード： 515 枚

シール：1,124 枚

活用状況：18 件（独居高齢者 16 人、その他 2 人）

(2) 健康づくり・介護（予防）事業の推進

すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護（予防）事業の充実に努めました。

ア 車いす貸出事業

日常生活又は社会生活において、車いすを必要とする方に無償で貸出し、生活の支援をしました。

貸出の状況

・年度末保有台数：230 台

・年度末貸出台数：133 台（内、令和 3 年度貸出台数：93 台）

(3) 子育て支援の充実

子育てをしている保護者が、地域のみなさんとのふれあいを通して、子育てに関する悩みや楽しみを分かち合いながら仲間を作り、互いに支え合うことができるよう子育てサロンを設置しています。地域で子育てを支援する体制づくりと継続的な支援に努めました。

ア ふれあい子育てサロン設置数 12 か所

イ ふれあい子育てサロン連絡会議

期 日：令和3年7月20日（火）

会 場：総合福祉センター

参加者：21名

ウ ふれあい子育てサロン研修会

期 日：令和4年3月2日（水）

会 場：総合福祉センター

内 容：講話「子育てサロンにおける感染症対策について」

講 師：こどもクリニックしまむら 院長 島村泰史 氏

参加者：21名

（4）小地域福祉活動の充実

地域の様々な課題に対応する福祉活動に地域住民が進んで参加できるよう、地区社会福祉協議会と連携を図りながら、自治会を単位とした小地域福祉活動の充実に努めました。

ア 地域福祉活動者保険

保険名：全国社会福祉協議会ボランティア活動保険

加入者数：1,687人

イ 地区社会福祉協議会における支部設置の推進

支部設置数：186支部

ウ 福祉協力員養成研修会

地区	実施日	会場	テーマ	参加者及び人数
小俣	6/23(水)	小俣公民館	福祉委員、福祉協力員研修会	小俣地区社会福祉協議会長・福祉委員等15人
久野	6/29(火)	久野公民館	福祉協力員について	久野地区社会福祉協議会役員・福祉協力員等28人

「目標3：福祉活動の担い手を支援する」

（1）ボランティアの人材育成及び推進

多くの市民の参加を促すため、ボランティア活動に関する講座等を充実するなど、ボランティア活動者の人材育成に努めボランティア活動の推進を図りました。

ア ボランティアセンター登録状況

団体：36団体（1,454人） 個人：10人

イ ボランティア相談

相談日：毎週月曜日から金曜日

開設場所：総合福祉センター

相談件数：6件

ウ ボランティア活動者保険

保険名：全国社会福祉協議会ボランティア活動保険

加入者数：729人

エ ボランティアルーム利用状況

登録：14団体

利用状況：376人

オ 養成講座等の状況

(回、人)

講座名	開催日	回数	受講者実人数
手話奉仕員養成講座	4/8～3/31	43	19
点訳講座	6/2～12/1	20	3
手話・要約筆記 きっかけ講座	10/28、11/4、11/11 11/18、11/25、12/2	6	12

カ 中学生・高校生のボランティアスクール

(人)

開催日	会場	内容	参加人数等
11/7(土)	身体障害者 スポーツ センター	「障がい者スポーツを体験しよう！」 障がい者スポーツについて 体験：コントロールアタック パラアーチェリー	中学生 3 高校生 9 計 12

キ 小学生の親子ボランティアスクール

(人)

開催日	会場	内容	参加人数等
10/2(土)	総合福祉 センター	聴覚障がい者について 手話教室	小学生 21 保護者 16 計 37

(2) ボランティア・NPOに対する支援

ボランティアやNPOの自立した活動を支えるため「赤い羽根市民活動助成金交付要領」に基づく支援のほか、他の団体等が実施する助成金情報の提供とともに、ボランティア活動等を継続するための相談体制の充実・強化を図りました。

赤い羽根市民活動助成金などによる支援 7団体

(3) 各種団体の取り組む福祉活動の支援

企業、PTA、当事者団体、サークル等の各種団体に対し、福祉活動に関する情報提供を行うとともに、各種団体が実施する研修会等の支援を行いました。

「難聴者の会あしかが」の支援

情報交換及び情報提供

毎月第2木曜日 午後1時30分～午後3時30分

ミニ手話教室

毎月第4木曜日 午後1時30分～午後3時30分

「目標4：安心して暮らせる地域づくりを進める」

(1) 災害ボランティアの育成と支援

災害発生時に、いち早く災害ボランティアセンターを開設し、ボランティア活動ができる体制づくりに努めました。また、災害時の身近な地域での活動を支援するため、災害ボランティアの育成に努めました。

ア [市民向け]災害ボランティア講座

近年の災害による各地の避難所の状況や設営体験をとおして、災害時の備えや誰もが安心して利用できる避難所づくりに必要な知識等を学ぶ講座を開催しました。

期 日：令和4年2月26日（土）

会 場：総合福祉センター

内 容：災害ボランティア入門講座（オンライン）

講 師：ボランティアコーディネーター 新井 大洋 氏

参加人数：17人

イ 災害ボランティアセンター運営振り返り研修

期 日：令和3年10月27日（水）

会 場：総合福祉センター

内 容：台風19号災害ボランティアセンター運営の振り返り

講 師：にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

参加人数：32人

ウ 災害ボランティアセンター 関係機関・団体等情報交換会

日頃から災害時に備えるため、災害ボランティアセンターに関係する機関や団体等と情報交換を行いました。

期 日：令和3年10月28日（木）

会 場：総合福祉センター

内 容：災害ボランティアセンター関係機関・団体等情報交換会

講 師：にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

参加団体・人数：16団体・20人

(2) 日常生活自立支援事業の活用促進及び成年後見制度の普及啓発

判断能力が十分でない方に対して、書類の管理や日常生活の金銭管理などの支援を行う「日常生活自立支援事業（あすてらすあしかが）」を実施しました。

また、成年後見制度の利用を必要とする高齢者、障がい者の増加が予測されることから、成年後見制度の普及啓発に努めるとともに、法人後見事業を試行的に実施しました。

ア 福祉サービス利用契約状況 (件)

区 分	年度初 利用契約数	年度中		年度末 利用契約数
		契約数	解約数	
生活支援サービス	108	14	22	100

イ 相談件数：1,794 件

ウ 権利擁護研修会

期 日：令和3年11月12日（金）

会 場：総合福祉センター

講 師：一般社団法人認知症予防&サポート研究所アングル
代表理事 河村 俊一 氏

参加者：17 人

エ 法人後見事業（試行的実施）

5 件 （内訳：後見人2件、保佐人2件、保佐監督人1件）

(3) 生活困窮者自立支援制度の取り組み

足利市、足利公共職業安定所（ハローワーク足利）などの関係機関と連携を図りながら、生活に困っている方への貸付け等の支援に努めました。

ア 生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会受託事業）

家族の病気や障がい等の理由により、生活の維持が困難となった世帯に対し、生活資金の貸し付けを行い、世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進を図りました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により収入が減少した方を対象とした特例貸付を行いました。

生活福祉資金貸付事業本則分 (件、円)

資金種類	貸付件数	貸付決定額	
福祉資金(福祉費・緊急小口資金)	5	2,706,000	
教育支援資金	3	1,760,000	
	教育支援費	2	1,620,000
	就学支援費	1	140,000
合 計	8	4,466,000	

新型コロナウイルス感染症拡大に係る特例貸付分 (件、円)

資金種類		申請件数	申請額
緊急小口資金		510	93,200,000
総合支援資金	初回貸付	543	279,050,000
	延長貸付	84	46,350,000
	再貸付	440	231,550,000
合 計		1,577	650,150,000

※申請した件数・金額のため、不承認があるので貸付件数・金額とは異なります。

※総合支援資金延長貸付 R3.6 未受付終了、再貸付 R3.12 未受付終了

イ 福祉金庫貸付事業

離職者や低所得世帯などの要支援者に対し小口資金の貸付を行い、自立支援に努めました。

貸付件数及び貸付金額 91件 1,920,000円
 償還件数及び償還金額 252件 2,012,000円

(4) だれもが安心して集える地域での居場所づくり

ア 「足利流こども食堂」助成事業

こどもたちの「孤食」や子育て世代の孤立化が進む中、地域住民が主体の運営による、だれもが安心して立ち寄れる地域の居場所づくりを支援しました。

○「ふれ愛よこまち」

期 日：毎月第1・第3水曜日 午後5時30分から午後7時
 会 場：コミュニティカフェよこまち（葉鹿町735-1）
 運営団体：ふれ愛よこまちの会
 回 数：17回
 参加人数：1,027人（内こどもの人数 666人）

○「WAKU-WAKUベース」 令和3年度休止

期 日：毎月第3土曜日 午前10時30分～午後3時
 ※2回開催の月もあり
 会 場：多機能型事業所ビーバディーズ（大町517）
 運営団体：WAKU-WAKUベース

○「キッチンOZ」

期 日：毎月第4土曜日 午後0時～午後3時
 会 場：吉田医院（江川町3-4-12）
 運営団体：こどものこと*へのへのわ
 回 数：13回
 参加人数：325人（内こどもの人数 295人）
 ※イベント出店あり

イ 買い物・移動支援事業

○買い物ツアー

期 日：11月11日（木）午前9時～11時30分

会 場：フレッセイ足利南店周辺及び足利丸足卸売市場場外市場

参加者：高齢者 12人、民生委員・児童委員 2人

移動手段：マイクロバス（借り上げ）

○買い物マルシェ

開催回数：15回（11団体）

○住民主体による「地域支え合い型移動サービス」を学ぶ会

期 日：1回目 10月22日（金）午後1時30分～3時30分【オンライン】

2回目 11月2日（火）午後1時30分～3時40分

会 場：総合福祉センター

参加者：1回目 29人、2回目 32人

講 師：1回目 特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎 民子 氏

2回目 コーディネーター

特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎 民子 氏

事例発表

大田原市佐久山地区社会福祉協議会

小山市大谷地区社会福祉協議会

○「地域支え合い型移動サービス」を学ぶ会【社会福祉法人向け】

期 日：3月8日（火）午後1時30分～3時40分

会 場：総合福祉センター

参加者：18人

講 師：社会福祉法人絆会 特別養護老人ホーム 玉樹

法人本部 地域福祉担当 染野 ユミ 氏

「目標5：いつでも相談ができ適切な情報が得られる仕組みづくりを進める」

(1) 社協だよりやホームページによる情報の発信

社協だよりやホームページを活用し、本会の実施する事業や出前福祉講座のほか、地区社会福祉協議会で行っている地域での活動を紹介するとともに、福祉サービス等に関する情報の充実を図りました。

ア 広報誌「あしかが社協だより」の発行

（5月、7月、10月、3月の年4回、全戸配布）

イ ホームページによる情報の提供

(2) 相談窓口の情報提供

福祉に関する相談窓口を開設し、情報提供に努めました。

(日、件)

区分	相談日等	開設場所	相談員	相談日数	相談件数
心配ごと相談	毎週月曜日 午後1時～午後4時	市役所 市民相談室	民生委員・児童委員 3人、保護司2人、 学識経験者1人	45	75
弁護士 相談	毎月第3月曜日 午後1時～午後4時	市役所 市民相談室	弁護士1人	12	136

※心配ごと相談は、新型コロナウイルス感染症拡大による国の緊急事態宣言に伴い、10日間開設を見送りました。

(3) 手話通訳者等及び要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚障がい者等が意思疎通の円滑化等を図れるよう、手話通訳者・要約筆記者等を派遣・斡旋しました。

(件、人)

区 分		件数	人数
相 談 件 数		148	
手話通訳者・手話奉仕員	派 遣	113	134
	斡 旋	13	22
要約筆記者	派 遣	2	3
	斡 旋	1	3

第3次足利市地域福祉活動計画の5か年が終了しました。

計画を策定した平成29年には、高齢者や障がい者への支援に関することなどの課題が継続的にありました。また、東日本大震災や平成28年の熊本地震等による甚大な自然災害発生以来、市民の防災に対する意識に変化がみられていました。そのような現状を背景に第3次足利市地域活動計画はスタートしましたが、最初の2年間については概ね良好に計画通り進めることができました。

その後、令和元年度には、台風19号災害により、本会として初めて災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアの派遣や被災者支援を行いました。以降は、災害ボランティアに関する事業の充実に努めました。

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、収入が減少した世帯を対象に、生活福祉資金特例貸付が始まりました。現在も継続して実施していますが、貸付開始当初は、多くの方が申込手続きのために来所したことから、優先的に支援に努めました。また、感染拡大により計画した事業を中止せざるを得ない状況もありました。

一方で、コロナ禍において自粛生活による健康二次被害などの課題も見えてきたことから、令和3年度には、買い物・移動支援事業などの新たな事業も取り入れました。

この5か年を総括すると、自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、中止や実施方法を変更した事業もありましたが、新たな地域課題に積極的に取り組むなど、地域活動計画の具現化にむけて事業を推進することができました。

6 介護保険事業の実施

介護が必要な方が在宅で自立した生活が送れるように、サービス内容等の相談やケアプラン作成及び介護事業者との連絡調整、紹介等のサービスに努めました。

居宅介護支援事業（ケアプランセンターすまいる）ケアプラン作成 (件、人)

区 分	介護保険	介護予防	総合事業	合計
作成延件数	964	178	116	1,258
利用実人数	121	22	17	160

7 障害児通所支援事業の運営

(1) 障害児相談支援事業所

障がいを持った児童が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、支援サービスを行いました。

- ・契約者数 205 人
- ・計画書作成件数 207 件
- ・モニタリング件数 362 件

(2) こども発達支援センターぼけっとクラブあしかが

障害福祉サービス事業として、発達に心配や障がいのある乳幼児に対して、嘱託医による療育相談、理学療法士による機能訓練、言語聴覚士による言語訓練、保育士・児童指導員による日常生活訓練及び集団生活への適応訓練等を行い、早期療育に努めました。

- ・利用延人数 2,576 人
- ・利用実人数 69 人

(3) こども発達支援センターぱれっとクラブあしかが

障害福祉サービス事業として、発達に心配や障がいのある乳幼児に対して、嘱託医による療育相談、言語聴覚士による言語訓練、保育士・児童指導員による日常生活訓練及び集団生活への適応訓練等を行い、早期療育に努めました。

- ・利用延人数 2,435 人
- ・利用実人数 71 人

8 福祉施設等の運営

(1) 泗水学園等

ア 泗水学園（定員 50 人）

入所児童の養育保護、健全育成及び自立支援に努めるとともに、児童相談所等の関係機関と連携して被虐待児等の対応にも努めました。また、継続して地域交流や退所後の継続指導も実施しました。

措置状況

(人)

区分	年度初	年度中の状況		年度末
		入所	退所	
児童数	40	5	3	42

措置児童の状況

(人)

区分	1・2歳児	年少児	小学生	中学生	高校生	その他	合計
児童数	2	5	13	13	9	0	42

入所理由別の状況

(人)

区分	虐待	養育困難	服役	親の疾病	養育拒否	養育不能	親の失踪	合計
児童数	20	9	2	4	1	4	2	42

退所理由別の状況 (年度中)

(人)

区分	卒園 (進学・就職等)	家庭引取	措置変更	合計
児童数	0	2	1	3

イ ショートステイの利用状況

(人)

市別	性別	幼児	小学生	中学生	男女別計	合計
足利市	男	1	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	
栃木市	男	0	0	0	0	2
	女	1	1	0	2	

ウ ながとろ児童クラブの登録状況

(人)

区分	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	合計
児童数 (一般)	3	3	2	0	2	1	11
児童数 (季節)	1	0	1	0	0	1	3

※延べ利用人数 2,235人

(2) さわらごハイム足利 (定員20世帯)

とちぎ男女共同参画センター等の関係機関と連携を図りながら、入所母子の保護、自立に向けた母親の就労支援、養育支援や児童の健全育成に努めました。また、地域との交流事業も継続して実施しました。

措置状況

(世帯、人)

区分	年度初	年度中の状況		年度末
		入所	退所	
世帯数	5	0	5	0
人数	11	0	11	0

地域交流事業の実施状況

(人)

事業内容	参加人数	備考
さわらご夏祭り	33	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、自治会との夏祭りが中止となった為、さわらごハイム足利独自の夏祭りを実施しました。
クリスマス会	31	さわらごハイム足利廃止に伴い、近年退所した元入所者を招待しました。

(3) 八幡こども館・にしこども館

遊びや仲間づくりなどを通して、こどもの健全育成に努めました。

一般利用対象事業、放課後児童クラブ、子育て支援事業（ぴよぴよクラブ、ふれあい広場）を実施しました。

利用状況（開館日数 293 日）

(人)

区 分		八幡こども館	にしこども館
一般利用	幼 児	91	23
	児 童	435	57
	その他	283	42
	計 ①	809	122
放課後児童クラブ	計 ②	6,602	6,174
ぴよぴよクラブ	幼 児	398	109
	保護者	354	99
	その他	47	26
	計 ③	799	234
お年寄りとの交流事業	計 ④	0	0
ふれあい広場	計 ⑤	418	424
地域活動クラブ	計 ⑥	80	83
合 計		8,708	7,037
1日平均利用人数		30	24

放課後児童クラブの登録状況

(人)

区 分		小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	合 計
八幡こども館	児童数 (一般)	8	10	10	7	0	0	35
	児童数 (季節)	1	2	2	3	3	0	11
にしこども館	児童数 (一般)	11	8	9	1	0	0	29
	児童数 (季節)	1	2	0	4	0	0	7

こどもとお年寄り等の交流事業の状況 (人)

区 分	事 業 内 容	参加人数
八幡こども館	絵手紙交流 (秋)	63
	絵手紙交流 (冬)	101
合 計		164

地域活動クラブの会員の状況 (人)

区 分	八幡地域活動クラブ	小俣地域活動クラブ
会 員 数	71	36

(4) わかば保育園・しんまち保育園

就労と育児の両立支援を図るため、低年齢児保育、すこやか発達支援保育のほか延長保育を実施するなど、保育の充実に努めました。しんまち保育園においては、必要な時に利用できる一時預かり事業も実施しました。

また、卒園児等との異年齢児交流やお年寄りや地域の人々との世代間交流を継続して実施し、地域の子育て支援センターとしての機能を果たしました。

ア わかば保育園 (定員 120 人)

入所状況 (人)

区 分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
年度初人数	5	15	13	25	23	21	102
年度末人数	15	16	12	24	22	21	110
年間延人数	132	181	142	297	267	246	1,265
1か月平均人数	11	15	12	25	22	21	105
延長保育登録児数 (標準時間 16・保育短時間 1)							

※上記の年度初人数から1か月平均人数までは、毎月初日における入所人数を記載

地域活動事業の実施状況 (人)

区 分	事 業 内 容	参加人数
異年齢児 交流事業	おめでとう1年生のつどい	42
	えがおいっぱいみんなでチャレンジ	42
	わかばワクワクなまつり	120
	ふれあい運動会	282
	お正月あそび	37
世 代 間 交流事業	お年寄りと子どものレクリエーション日和	52
	もちつき	150
合 計		725

イ しんまち保育園（定員 90 人）

入所状況

(人)

区 分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
年度初人数	4	15	10	16	16	16	77
年度末人数	13	14	10	16	16	16	85
年間延人数	104	168	127	202	192	192	985
1か月平均人数	9	14	11	17	16	16	82
延長保育登録児数（標準時間 16・保育短時間 7）							
一時預かり事業登録児数 12							

※上記の年度初人数から1か月平均人数までは、毎月初日における入所人数を記載

地域活動事業の実施状況

(人)

区 分	事 業 内 容	参加人数
異年齢児 交流事業	入学を祝う会	37
	夏祭り	106
	みんなで楽しむ運動会	244
	1年生のお正月あそび	35
世 代 間 交流事業	お年寄りと子どもの花植え	32
	おじいちゃんおばあちゃんとのレクリエーション	37
	お供え作り	35
合 計		526

(5) 足利市視覚障害者福祉ホーム

ボランティアグループ等と連携し、研修会等の開催、生活訓練事業等及び相談事業などを実施し、視覚障がい者の自立支援に努めました。

また、点訳ボランティア（あしかがみ等の点訳）や音訳ボランティア（対面朗読等）が活動拠点として利用しました。

利用延人数 1,876 人

(6) 総合福祉センター

本会の本部を置き、法人運営のほか、地域福祉の推進や介護保険事業などの福祉サービスの提供に努めました。

会議室において各種講習会を開催するほか、福祉団体やボランティアグループへの貸出しを行いました。

会議室利用状況 (人)

会議室	利用人数
301会議室	2,161
302会議室	1,551
303会議室	998
和室会議室	111
合 計	4,821

※総合福祉センターの会議室の貸出しについては、新型コロナウイルス感染拡大による国の緊急事態宣言に伴い、9月10日～9月30日までの期間、新規受付を中止しました。

9 その他の事業

(1) 各種義援金

市内公共施設等に募金箱を設置するなど、各種義援金の募集、受付を行い、日本赤十字社を通じて送金をしました。

区 分	金 額
令和3年8月大雨災害義援金	4,619
令和3年台風9号等大雨災害義援金	7,490
令和3年度長野県茅野市土石流災害義援金	431
ウクライナ人道危機救援金	409,337

(2) 地区等の敬老事業への助成

地区及び施設について、敬老事業経費の助成を行いました。

- ・敬老事業経費の助成（1人当たり150円） 対象20,422人

(3) 赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい募金運動の推進

栃木県共同募金会足利市支会事務局として、自治会などの協力を得て、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金を実施しました。

10月から12月期赤い羽根共同募金は、県内の福祉施設の備品及び災害のための積立金、並びに本市の地域福祉活動に翌年度に活用されます。

さらに、歳末たすけあい募金は支援を要する方への支援金及び地域福祉活動への助成金に活用されました。

- ・赤い羽根共同募金運動（10月～12月期）募金実績額 13,492,905円
- ・歳末たすけあい募金運動 募金実績額 12,235,679円

(4) 日本赤十字事業への協力

日本赤十字社栃木県支部足利市地区事務局として、国内の災害救援活動や国際救援活動等に充てるため、活動資金募集を行うとともに、火災等による被災世帯への救援などに努めました。

・日赤活動資金実績額 13,885,824 円

(5) 足利市老人クラブ連合会事務局

令和3年度より、本会に事務局が移管され老人クラブ連合会及び地域の老人クラブへの支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止する事業もありましたが、2事業を実施し、支援を行いました。

ア 足老連若手部会

期 日：令和3年12月17日（金）

会 場：総合福祉センター

内 容：講話「新型コロナの健康二次被害について」、情報交換会、ニュース
ポーツ体験

講 師：足利市健康増進課職員

参加者：13人

イ 女性部研修会

期 日：令和4年3月4日（金）

会 場：総合福祉センター

内 容：「お笑い介護レクリエーション」

講 師：吉本興業 栃木住みます芸人 上原チヨ一 氏

参加者：25人